

Bluetooth™

ラッシュ
RUSH RCF
新設計 MMC エンジン搭載



HIGH DEFINITION SOUND BY **RCF**

MIDLAND®

※本体のバージョンアップ等により、仕様が変更となる場合があります。

日本語



① RUSH RCF 通信のしくみ

RUSH RCF本体は、複数のRUSH RCFの相手と同時に会話を行うミッドランド独自の新規開発[MMC]エンジンの通信方式を採用した商品です。

※1対1の個別Bluetoothインターカム通信と異なり、1対複数の通信ネットワークより、網の目状の通信網となる事からメッシュネットワークと総称されます。



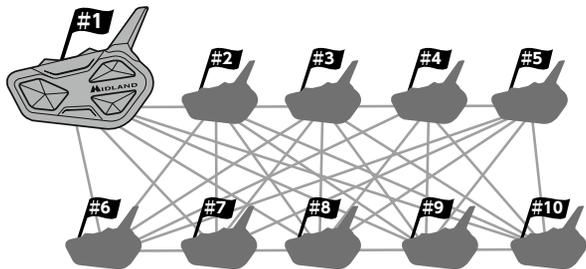
本機では、10人同時に双方向通話が可能(パブリックグループモード)個々のRUSH RCF ユニットに、割り振られた1番から10番までのチャンネル番号をユーザーが選択して通信を行います。

MMC メッシュ接続には、2つのグループがあります。お客様の通話スタイルに合ったグループをご選択ください。

※本製品の工場出荷設定は、パブリックグループモードです。

おすすめ **パブリックグループ** 10人で使用

ユーザーによるペアリングの作業がありません。
RUSH RCFユーザーが、チャンネル番号を選択、メッシュ発信すれば
会話が始まります。工場初期出荷設定のモードです。



どちらのモードも、音質に違いは発生しません。

又、どちらのモードも、後述します、ゲストユーザーの追加、メッシュ通信を行いながらナビ・音楽などを聴く事が可能です。

距離優先 **プライベートグループ** 6人で使用

ユーザーによるペアリングの作業がありません。
(より秘話性を高めたエンクリプションキーの登録にはペアリング作業が必要です。)
全員が親機となり無線通信を拡散する方式です。
(パブリックグループとの兼用はできません。)



本製品はご購入時[パブリックグループモード]に設定されています。

	パブリックグループ	プライベートグループ
最大使用人数	10人まで	6人まで
エンクリプション機能	×	○
ゲストモード	○	○
⊕ボタン登録デバイスステレオブレンド	○	○
バックグラウンドワイドFM	○	○

※同じグループ内で同じチャンネル番号を設定できません。

※パブリックグループでは11人目以降、プライベートグループで7人目以降はゲスト参加が可能です。ゲストは10人(6人)の会話を聞けますが、話すことはできません。

② 同梱物の確認

●本機



●ワイヤーマイク

※面ファスナー付き



●アームマイク

※面ファスナー付き



●低音用BASSクッション(2個)



●Type-C USB充電ケーブル



●スピーカー用スペーサー(2個)

※面ファスナー付き



●RCF高音質HDスピーカー(2個)



●マグネティックマウント



●ブラケット(クリップ型)



●ブラケット(貼り付け型)



●スペーサーゴム(2種)



※上記はシングルパックの同梱物です。ツインパックは2セットずつ同梱されています。
※仕様は予告なく変更となる場合があります。

各部の名前



※充電が完了すると青色LEDが点灯します。

USB端子

③ まずは聞いてみよう

本機は、バイク用無線通信機器として、複数のライダーと会話を行ったり、高音質スピーカーにて音楽を再生できます。

1. 本機を充電する。

付属のUSB充電ケーブルでパソコンまたは、USB充電器(別売)で充電します。本機の赤いランプが点滅します。(満充電:約2時間)

2. 本機とマグネティックマウントを装着する。

3. マグネティックマウントとスピーカーを接続する。

■スマートフォンの場合

4. コントロールボタンを約7秒押す。

赤いランプが点灯します。

5. ⊕ボタンを約3秒押す。

赤色青色LEDの早い交互点滅になります。

6. スマートフォンのBluetooth設定をONにし、

「Midland RUSH RCF」を選択する。

※PINコードを要求された場合は(0000)を入力します。

7. 音楽を再生してみましょう。

■FMラジオの場合

※右図のようにスピーカーワイヤーとマイクワイヤーを伸ばし、張った状態でお試ください。

※付属のスピーカーワイヤー、マイクワイヤーはFMラジオのアンテナとして代用しています。

4. 電源を入れ、コントロールボタンを約3秒押す。

FMラジオモードに切り替わります。

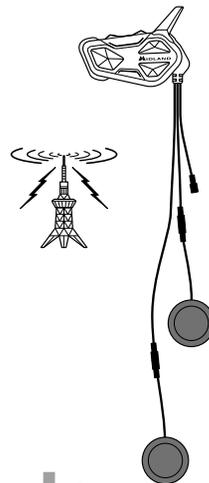
5. コントロールボタンを押す。

ラジオのON-OFFです。

6. アップボタン(サーチアップ)、ダウンボタン

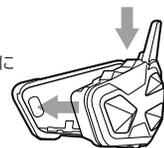
(サーチダウン)を押して選局する。

FMラジオを聞いてみましょう。



本体を装着する

本体を45°傾けてマグネティックマウントに端子側を挿入し、もう一方を近づけます。本体が強力な磁石で安全に固定されます。



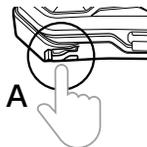
注意

- 本体が完全に固定されていないと脱落する恐れがあり危険です。装着は完全に行ってください。
- 強力な磁石ですので装着時、指の挟み込みに注意してください。

■取り外すには

図(A)部分を押して、本体を引き出します。

※無理に外そうとするとマグネティックマウントの根元が折れたり、端子部が破損したりする要因となります。





④ スマートフォンアプリを使ってインカム設定をしましょう

アプリでファームウェアバージョンの確認やFM局の登録、イコライザ、マイク感度の設定ができます。

Step1

アプリのダウンロード



Step2



電源 OFF の状態からコントロールボタンを約 7 秒間長押し

Step3



⊕ ボタンを約 3 秒間長押し

Step4



スマートフォンの Bluetooth 探索部分から、MIDLAND インカムを選択

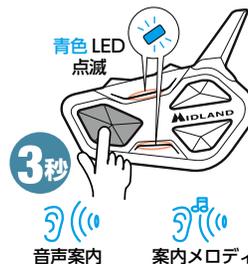


Step1

アプリのダウンロード



Step2



電源 OFF の状態からコントロールボタンを約 3 秒間長押し、インカムの電源 ON

Step3



ご注意

※Step2 より 2分以上経過すると、ペアリングができなくなります。

その場合は、インカムの電源を OFF にし、Step2 より設定し直してください。

※この設定はアプリとの接続のための設定です。iOS デバイスの音楽アプリ等の音声を聴くには、別途インカムとスマートフォンのペアリングが必要です。

また、⊕ボタンに別の Android 端末を音楽視聴用としてペアリングできます。

詳しい操作方法は取扱説明書をご覧ください。

本アプリは BLE を使い接続を行います。

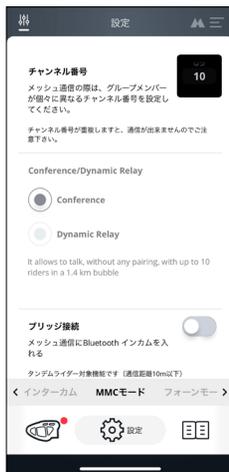
BLE (Bluetooth Low Energy) は、セキュリティの維持、省電力が最大の特徴です。また、本機 Bluetooth ペアリング枠を使用しないので、アプリ搭載のスマートフォン以外のデバイスも使用できます。

[アプリでできること]

- ファームウェア Ver.の確認



- チャンネル番号設定



- 音量設定



- FM局の登録



[チャンネルを設定してみよう] ※ユーザー個々のチャンネルの設定が必要です。

- ① 設定をタップ



- ② 設定をタップ



- ③ MMCモードをタップ



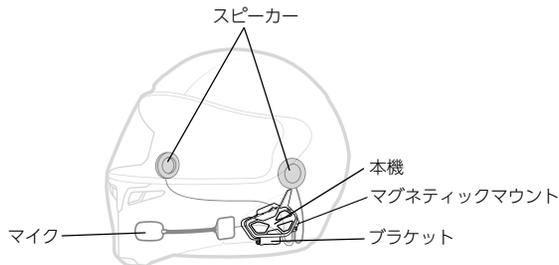
- ④ チャンネルを選択
※上下にスライドさせると番号が変わります



⑤ ヘルメットへの取付

ヘルメットによっては、スピーカー用のスペースがあらかじめ設けられている場合があります。ただし、最適な場所に配置されているとは限りません。必ずスピーカーを正しく取り付けてください。スピーカーの位置が、音の聞こえ方に大きく影響します。必要に応じて付属のスペーサーを使用してください。

【ヘルメット左側へ取付イメージ】



スピーカーを取り付ける

ヘルメット内部の耳に当たる部分に付属の両面テープと面ファスナーテープでスピーカーを取り付けます。最高の音の明瞭さを得るには、スピーカーを耳の中心に合わせて配置してください。



注意

- 取り付ける前に左右のスピーカーから音が出ていることを確認してください。
- 運転中に周囲の交通状況を聞けるよう、両耳を完全にふさいでしまうような取り付けかたをしないよう注意してください。

●低音用BASSクッション

イヤークッションを使用して、エクストラBASSサウンドをお楽しみいただけます。

※イヤークッションを装着されない場合でも、RCFサウンドを体感できます。

※ご使用のヘルメットによっては、取付スペースにうまく合わない場合があります。



マイクを取り付ける

マイクは2種類付属しています。ヘルメットタイプに適したマイクを装着してください。

●アームマイク

オープンフェースタイプ、フロントフリップタイプのヘルメットに適したマイクです。

マイクの根元に付いている両面テープと面ファスナーテープで取り付けます。

指向性の高いマイクを使用しています。マイクの部分が、装着時に口の前に来るように取り付けてください。

白色のマークが口側に向くように取り付けてください。風切りのノイズキャンセル機能を有効に活用できます。



●ワイヤーマイク

フルフェイスタイプのヘルメットに適したマイクです。マイクに付いている両面テープと面ファスナーで取り付けます。

指向性の高いマイクを使用しています。マイクの部分が、装着時に口の前に来るように取り付けてください。



ヘルメットにブラケットを取り付ける

マグネティックマウントを取り付けるブラケットは2種類付属しています。※取り付けは、貼り付け型ブラケットタイプをお勧めします。



(貼り付け型ブラケット)



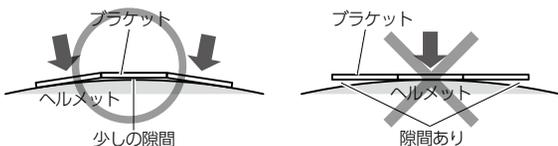
(クリップ型ブラケット)

■貼り付け型ブラケットの場合

粘着シートで貼り付ける前に、本体をブラケットに取り付けた状態で最善の装着場所を確認してください。

1. ヘルメットの取り付け部分から油分などの汚れを拭き取る。
2. 貼り付け型ブラケットの粘着シートのフィルムをはがし、装着面に貼り付ける。

粘着シートの両端を装着面にできるだけ隙間の無いよう確実に取り付けてください。しばらくそのまま固定して、装着を完全にしてください。



■クリップ型ブラケットの場合

本体をブラケットに取り付けた状態で最善の装着場所を確認してください。



■スペーサーゴムを使用する

貼り付け型ブラケットと同じ形のスペーサーゴムが2種類同梱されています。必要に応じてお使いください。

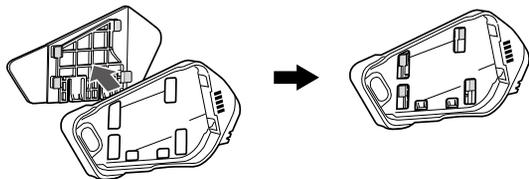
※スペーサーゴムは、ヘルメットとのぐらつきを抑えるため(隙間を埋める)の部品です。

注意

ブラケットは、あらゆる装着テストを基に設計されていますが、本体のヘルメットからの脱着に伴う事故、破損、損失、故障は、保障範囲から外れます。十分注意して取り付けてください。

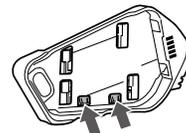
マグネティックマウントをブラケットに取り付ける

ブラケットのフックを合わせて下にスライドし「カッチ」と音がするまで、しっかり取り付けます。



■取り外すには

先の細いものでフックを押し、上にスライドします。



●マグネティックマウントについて

マグネティックマウントには、強力な永久磁石を使用しています。取扱いはご注意ください。

警告

❗ 磁石から安全な距離を保ってください
ペースメーカー、植込み型除細動器、他のプロテーゼ、または他のデバイス機器の動作に影響を与える可能性があります。

⊘ 磁気カード等への影響
クレジットカード、ATMカード、SIMカード、一般的な磁気カード、コンピューターメディア、ストレージデバイス、補聴器、スピーカー、機械式時計、コンパス、ラジオ、リモコン等の機器などへは遠ざけてください。

❗ 強力な引力があります
不用意に取り扱っていると磁石との間に指や皮膚が挟まれ、けがを負う可能性があります。

⊘ 腐食から保護するために薄いコーティングが施されています
衝突や強い圧力により、コーティングにひびが入ったり損傷したりする可能性があります。また、雨や湿気などに直接さらされると磁石が錆びる可能性があります。

●リチウムイオン電池について

本機にはリチウムイオン電池を内蔵しています。

注意

❗ リチウムイオン電池は外部からの衝撃で内部ショートが発生する場合があります。
本機を落としたり、ぶつたりしないよう、十分にご注意ください。

スペアパーツの一覧表

名称	型番		名称	型番	
RUSHシリーズ アクセサリー フルセット	C1550		RUSHシリーズ マグネティック マウント	C1552	
			RCF 高音質 HDスピーカー (1個入)	C1509	
			RCF 高音質 HDサウンド オーディオ キット	C1507	
RUSHシリーズ マウント 取付キット (2種入)	C1505		RUSHシリーズ マイクセット (2種入)	C1510	L1343 フルフェイス用 ワイヤーマイク L1344 ジェットヘルメット用 ブームマイク
RUSHシリーズ Type-C USB 充電ケーブル	C1508		ジェット ヘルメット用 マイクスポンジ (スペア)	84-01	